

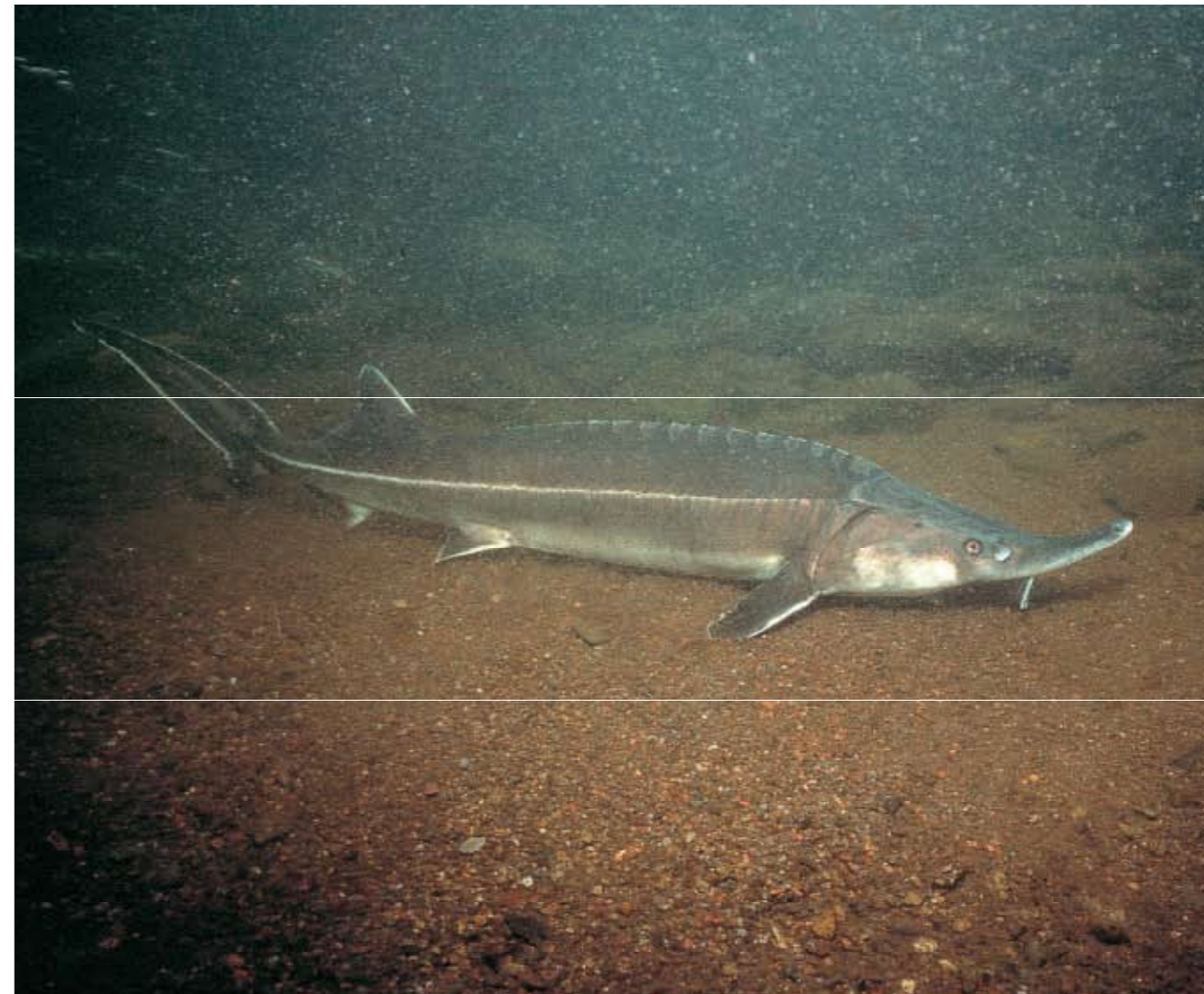
川と人

Vol.14
1999



「特集」水と緑が大好きです
石狩川と花木

写真/雨竜川桜づつみモデル事業(沼田町)



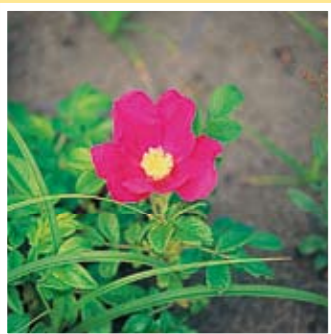
古代魚の復活へ

チヨウザメ — チヨウザメ科

最大体長/約200cm (チヨウザメ)

昔、石狩川にいたとされるチヨウザメはシラカンスと同じ古代魚の一種。古代魚の特徴である硬い鱗で覆われ、体側にある鱗の形が蝶に、尾や口がサメに似ているためチヨウザメの名がつけられました。石狩川に多量に來遊したのは遼河性のあるタウリアチヨウザメとチヨウザメの2種と思われ、江別などチヨウザメに由来した地名が道内には残っています。平成10年、ワシントン条約で存続を脅かす利用がなされないよう取引を厳重に規制され、道内では復活に向けた本格的な研究も活発です。キャビア以外の身も捨てる所がなく美味、「川の科学館」では3年魚20尾、5年魚10尾を展示しています。

「川の科学館」滝川市西滝川1 (0125) 24-0989



特集

石狩川と花木

Moving for Green & River

せせらぎの中で花々は可憐に、
そして緑はしなやかに舞う……。
石狩川流域には、
そんな花と緑の名所がたくさんあります。
また、住民の緑の取り組みも活発です。
さあ、季節と自然を求めて、
川辺に出掛けませんか？

雪解け水が流れ込み川が勢いを増すと、様々な生命が萌える、
待ちに待った季節の到来です。

水と緑が 大好きです。



生態学的混播法（石狩市）



特集 石狩川と花木

2~7

緊急レポート 貴家 尚哉
1998年中国東北地方の洪水について
8~10

インタビュー 川に生きる
豊平川下寛権 代表 石崎 和彦
11~12

流域の現在
色とりどりの花々が香るガーデンシティ
「恵庭市」……………13・14
都市と農村の交流を果たす、滞在型農園
「栗沢町」……………13・14

河川トピックス
北海道開発局
平成11年度河川事業に関する制度の
創設・拡充について……………15
北海道開発局 旭川開発建設部
忠別ダムの施工……………16
北海道開発局 石狩川開発建設部
滝里ダム建設事業……………17・18
北海道
茂漁川改修完成記念 地域づくりシン
ポジウムトーク・イン・茂漁川……………19
旭川市
「氷点」の舞台となった見本林に「三浦
綾子記念文学館」完成……………20

トピックス
「石狩川の清流を守るメッセージ・カプセルリ
レー（仮）」開催決定……………21
'99ファミリーカヌーINサッポロ 身障者・健
常者合同カヌー大会参加者募集……………21

石狩川振興財団の活動報告
明治31年大水害 100周年記念パネル展
……………22
編集後記……………22



Moving for Green & River 石狩川 花の名所

水辺に咲く、花々に逢いに行く
石狩川流域はこれから花のシーズンを迎えます。
遅く自生する花、大切に育てられた花、
短い季節を謳歌するように咲くその姿は、
上質な音楽のように水辺と美しく調和します。

ハマナスの丘公園

見ごろ ■ 6月中旬から8月
ところ ■ 石狩町・石狩川河口

北の夏を彩る、芳しき紅の花
1世紀にわたり北の海を照らし続けてきた、石狩灯台のある丘陵地には北海道の夏の花として知られるハマナスやハマボウフウ、エゾスカシユリ等の



ミズバシヨウ大群落・生振築堤

見ごろ ■ 4月中旬から5月中旬頃まで
ところ ■ 石狩河口橋手前、石狩川左岸のマクンベツ湿地帯

春を告げる、清楚な美しさ

雪解けで水かさが増す4月中旬から5月中旬にかけて、マクンベツ湿原は純白に彩られます。まだ芽吹くには早く、冬枯れの景色の中にミズバシヨウだけがわが世の春と咲き誇る、清楚な姿に似合わない遅しさを持った野草です。ミズバシヨウはサトイモ科の大型多年草で、葉より先に白色肉質の仏炎



砂丘海浜植物も多く群生し、自然保護地域に指定されています。ハマナスはバラ科の落葉低木で、浜の砂地に生えます。夏になると紅の花を咲かせ、一帯の緑を背景に灯台の赤と白のストライプとのコントラストが絶品で、芳しい香りに包まれます。



石狩川・花文字植栽

見ごろ ■ 6月上旬から10月末まで
ところ ■ 雨竜町字尾白利加地先

思わず目をとめる ダイナミックな花文字

石狩川と一般国道275号が80m位の間隔で並列している地点に、「いしかり川河口から100キロ」と植栽された花文字があります。これは滝川河川事務所が河川愛護と河川事業のイメージアップ等のために始めたもので、そのスケールの大きさがアイデアのユニークさがドライバーに好評で、珍しい花の名所として注目を集めています。花文字は開発局マークがアゲラタモ、文字部分はサルビア、マリゴールド、ペチニアで色合いを計算して植えられているのでよく観察して下さい。



雨竜沼湿原

見ごろ ■ ミズバシヨウ4月中旬から6月中旬、高皿植物夏から夏
ところ ■ 雨竜町字see雨竜沼湿原ゲートパーク

神が造られし、自然の楽園

「北の尾瀬」と知られる雨竜沼は、標高850mのところを広がる珍しい高層湿原帯で、東西4km、南北2kmの湿原には大小100余りの湖沼群が点在し、一帯には湿原植物や高山植物が群生する、学術的にも貴重なものです。雪解け後のミズバシヨウから、夏にはエソカンゾウ、サワギキョウ、夕茅ギボウシなど100種類以上が咲き誇る光景は、南暑寒別岳等の山々に抱かれ、神々しいほどの美しさです。湿原へは「南暑寒荘」のある登山口から、片道2時間ほどで登るのが最短ですが、ルート別や2回コースもあります。登山途中も大小の滝があるなど、見所満載です。



ジャーマンアイリス 広場

見ごろ ■ 6月頃
ところ ■ 旭川市・石狩川金星橋上流右岸

リニューアル後の開花が 待たれる、川の花園

脈々と流れる大河の川岸を艶やかに彩る、ジャーマンアイリスの花園。広場には散策路や休憩所がジャーマンアイリスに囲まれるように造られ、黄色や紫の鮮やかで美しい姿にしばしば目を惹きます。ジャーマンアイリスはアヤメ科の花形が目を引く、ヨーロッパでは古くから豪華な庭を飾る花として愛されてきました。残念ながら、平成9年に防災道路が造成され、広場をリニューアル、新たな株に植え替えして、開花までには2〜3年必要な状況です。



Moving for Green 流域 & River 緑の取り組み

水と緑のために、私達ができること

森はさまざまな動植物を守り育て、水を生み出す場所です。次の世代に良好な環境を残し、その尊さを伝えるために、水と緑を私達が育んでいきます。

小さな苗木にして植えることで、競走と自然選択が働き、多様な緑が再生、その地域の特性を持つ生態系が復元するということです。混播法は91年から

実験が行われ確実な成果を上げています。画期的な考えもさることながら、混播法は種の採取から植栽、マルチングまでの行程がじつに簡単で、誰でも出来る点でも優れています。実際参加した住民は、種を集める所から始めるので愛着が湧き、作業が楽なので楽しみながらやっているといえます。第2回石狩川サミットで宣言された「一人一本280万本植樹運動」にこの方法が採用され、既に旭川市、滝川市、札幌市などで行われています。どんどん広がる緑と人の輪

植栽の時はまるでお祭りのようにたくさんの方が集まりました。また植栽地を代表して指導する「みどりの里親」を育成するなど、緑と同様人づきりも並行して行っています。現在、1の団体、個人が活動し、さらに今後は6市町村6グループを育成する予定です。また札幌の東海大第四高付属中等部では、環境教育の一環として混播法を実施しました。生徒達は予想以上に真剣に取り組みましたが、むしろ父母達の評判がよく、1学年だけのはずが、2学年も追加実施したというほどです。30年後を見届けられる次の世代の参加もあって、緑復活の青写真が見えてきました。

住民参加による自然林再生法、生態学的混播法
小さな子供からお年寄りまで参加可能な画期的再生法

その地域の自然に近い 樹林帯を再生

従来の緑化技術と大きく異なる生態学的混播法（以降、混播法）。植栽の対象地にもともとあった植物（在来種）を再生させるため、人の手を加えない土壌に、周辺に生育する様々な在来種の種をたくさん集め、直接播いた

旭川市



東海大第四高付属中等部



旭川市

春は薄紅色の 石狩川から始まる 桜つつみモデル事業

桜が似合う水辺で、生長を見守る

桜つつみモデル事業は、堤防の強化を図ることにより、堤防上に桜の高木等を植樹し、河川やその周辺の緑化を推進することを目的に、建設省が全国で進めている事業です。石狩川流域でも、既に桜つつみモデル事業を実施している河川があり、春には薄紅色の花びらが舞い落ちる光景も見られます。

事業は、地域の河川管理者や市町村長が申請し、建設省の認定を受けることで実施されます。モデルに選ばれるのは、自然的、社会的、歴史的環境の中で、桜つつみを設け、さらに良い水

北村



三笠市

石狩川流域の桜つつみモデル事業実施河川

- 旧美唄川 北村 (H1認定)
- 雨竜川 沼田町 (H2認定)
- 幾春別川 三笠市 (H2認定)
- 漁川 恵庭市 (H3認定)
- 石狩川 滝川市 (H4認定)
- 夕張川 南幌町 (H4認定)
- 石狩川 新篠津村 (H7認定)
- 夕張川 長沼町 (H8認定)
- 石狩川 深川市 (H9認定)

辺環境を図る必要があり、しかもその地域と住民が水辺の整備や保全に高い熱意を持っている川です。現時点では満開の見ごろとなるにはまだまだ年月が必要ですが、既に事業を実施した沼田町などでは、春ともなると住民が雨竜川に桜を観にやってくるそうです。住民達は憩いを求めると同時に、早く大きくなってほしいと願っているようでもあります。生長を見守る楽しみも桜つつみ事業ならではのものです。



洪水により水没した吉林省松原市前郭県農村部の小学校。同地は今現在も冠水したままになっている（小学校は被害のない個所に移転した）。

1998年 中国東北地方の “洪水”について

在瀋陽日本国総領事館 貴家 尚哉



両省の概要を示しますと、黒龍江省は面積45.5万平方km、人口約3750万人、農業と林業が中心産業の中国最北に位置する省で、山形県・北海道と友好姉妹関係にあります。省都はハルビン市で市中心部が松花江に面しています。

地域概要

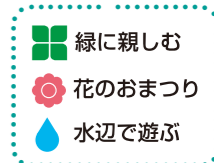
あまり報じられていませんので、この歴史的にも日本との関わり合いが深い、中国東北地方で発生した洪水について紹介したいと思います。

緊急リポート

1998年はご存知のように日本を含め東アジア各国で記録的な大雨による洪水災害が発生しました。その中でも中国・長江における洪水は、被災地の様子や人民解放軍による洪水防御作業等の映像が世界中に向け放映されるとともに、被災状況も徐々に報告されつつあります。しかしながら中国東北地方の黒龍江省・吉林省西部を中心とした松花江・嫩江流域の洪水に関しては

Moving for Green & River 花・水・緑のイベント カレンダー

これからの季節、石狩川流域の各市町村は花と緑、そして水のイベントが盛り沢山です。その中でも、誰でも参加可能な四季折々の体験型イベントを選んでみました。さあ、今度の週末はどこに出掛けましょうか。



月	イベント	実施期間	実施場所	内容	問い合わせ先
5月	びばい桜まつり	7~9	美瑛市東明公園	焼き肉コーナー、ジャズコンサート 他	美瑛観光物産協会 ☎01266 (2) 3131
	旭山公園夜桜まつり	上旬	旭川市旭山公園	2千本の桜をライトアップ 他	旭川東商工会 ☎0166 (36) 1042
	すながわ緑と花の祭典	16	砂川市北光公園	苗木の無料配布、ラジオ公開録音 他	砂川市まちづくり推進課 ☎0125 (54) 2121
	みかさ梅まつり	16	三笠市三笠梅林邦梅園	うめまき、特産品輪投げ大会 他	三笠市商工会 ☎01267 (2) 2249
6月	雨竜沼湿原南暑岳山開き	中旬	雨竜町雨竜沼湿原ゲートパーク	安全祈願祭、記念品進呈	雨竜町観光協会 ☎0125 (77) 2155
	山のまつり (ヌプリコロカムイノミ)	26	東川町旭岳温泉	安全祈願祭、バーベキューパーティー、たいまつ行進	東川町観光協会 ☎0166 (82) 2111
	ピンネシリ登山 (山開き)	26	新十津川町ふるさと公園~ピンネシリ	高山植物を楽しみながらの登山	新十津川町商工観光課 ☎0125 (76) 2131
新城夫婦滝まつり	27	芦別市新城夫婦滝公園	滝見観音参詣、展望林道コース巡り	新城町内会 ☎01242 (8) 2158	
7月	石狩川フェスティバル	上旬	旭川市石狩川新永山橋上流右岸特設会場	野外映画会、カヌー体験、熱気球体験、他	旭川北商工会 ☎0166 (57) 2410
	芦別温泉花しょうぶ祭り	上旬~下旬	芦別市芦別温泉花しょうぶ園	花しょうぶ即売会 他	芦別振興公社 ☎01242 (3) 1155
	かみふらのラベンダー祭り	17・18	上富良野町日の出公園	ラベンダー結婚式、地場産バザール 他	同実行委員会 ☎0167 (45) 3121
	支笏湖湖水まつり	中旬	千歳市支笏湖温泉	ステージ行事、灯籠流し 他	同実行委員会 ☎0123 (23) 8288
	恵庭・花とくらし展	中旬	恵庭市恵み野地区 他	フラワーマーケット、花の講演会 他	同実行委員会 ☎0123 (33) 3131
	ホテル観賞会	中旬	江別市四季のみち(夏のゾーン)	ホテルの観賞会、環境保護についての講演 他	江別ホテルの会 ☎011 (383) 8708
	なかふらのラベンダーまつり	中旬	中富良野町なかふらのフラワーパーク	ラベンダーの開花に合わせ各種イベント開催	中富良野町観光協会 ☎0167 (44) 2121
	ほたるの里ほたる祭り	中旬	沼田町「ほたるの里」	源氏、平家ホテルの観賞、夜店 他	ほろしん温泉ほたる館 ☎0164 (35) 1188
	ひまわりの里ひまわり迷路	中旬	北竜町ひまわりの里	ジャンボひまわり迷路、世界のひまわりコーナー	同実行委員会 ☎0164 (34) 2111
	あやめまつり	中旬	岩見沢市駅前広場あやめ公園、いわみざわ公園	あやめ市、野点、農産物フェア 他	岩見沢市観光協会 ☎0126 (22) 3445
	かなやま湖湖水まつり	24・25	南富良野町かなやま湖畔キャンプ場	国際芸術の夕べ、各種ゲーム 他	南富良野町商工観光課 ☎0167 (52) 2112
	道北スカイスポーツフェスティバル in とうま	25	当麻町スカイパーク	熱気球、グライダーの無料搭乗体験 他	同実行委員会 ☎0166 (84) 3597
鷹泊湖水まつり	下旬	深川市鷹泊湖畔	ヨット帆走、ちびっ子カーニバル 他	深川市商工労政課 ☎0164 (26) 2264	
ないえこども川まつり	下旬	奈井江町奈井江川河川緑地	ヤマベの放流、ニジマスのつかみどり、出店 他	奈井江町都市建設課維持管理係 ☎0125 (65) 2111	
南幌リバーサイドフェスティバル	下旬	南幌町南幌リバーサイド公園	屋はヘリコプターの無料体験等、夜は花火大会キャンプ場有り	南幌町企画振興課 ☎011 (378) 2121	
つきがた夏まつり	下旬	月形町皆楽公園	湖上競技、フリーマーケット、特産物即売 他	月形町政策調整室 ☎0126 (53) 2321	
8月	定山溪かっぱウォーク	1・2	札幌市真駒内中央公園~定山溪温泉	山々を眺めながらの20kmウォーキング	定山溪観光協会 ☎011 (598) 2012
	朱鞠内湖湖水祭	7・8	幌加内町朱鞠内湖湖畔	水上綱引き大会、朱鞠内太鼓 他	幌加内町観光協会 ☎01653 (5) 2380
	ひしがくぐら花まつり	7・8	東神楽町義経公園 他	花の市、フラワーパレード、花のプレゼント 他	東神楽町企画振興課 ☎0166 (83) 2111
	水と緑のまつり	上旬	愛別町愛別ダム上流	溪流釣り堀、カヌー体験試乗、ダム見学会、~ウォークラリー	愛別町企画課 ☎01658 (6) 5111
9月	音と光のファンタジー花火 IN KAGURA	中旬	旭川市両神橋上流河川敷せせらぎ公園	見本林、せせらぎ公園のライトアップ、花火大会 他	旭川市南商工会 ☎0166 (61) 3661
	フラワーフェスタ「森林公園まつり」	下旬	東神楽町森林公園	バーベキュー、各種ゲーム大会 他	東神楽町企画振興課 ☎0166 (83) 2111
10月	百万飜祭りin美瑛	5	美瑛市中村町石狩川河川敷	アーチ連飜、ブリッジ連飜 他	美瑛観光物産協会 ☎01266 (3) 0112
	インディアン水車まつり	中旬	千歳市インディアン水車公園内	サケ、ヤマベの釣り堀、露店、サケ鍋の賞味	同実行委員会(千歳観光連盟) ☎0123 (24) 8818
	石狩さけまつり	中旬	石狩市石狩浜特設会場	サケつかみどり大会、即売会、石狩鍋サービス	(社)石狩観光協会 ☎0133 (72) 4611
	しんとつかわ味覚まつり	中旬	新十津川町徳富川河川敷	秋の味覚と地酒をテーマとしたお祭り	新十津川町商工観光課 ☎0125 (76) 2131
	秋桜フェスタin丸加	中旬	滝川市丸加高原健康の郷	バーベキュー、農産物の即売 他	滝川市観光課 ☎0125 (23) 1234
こたんまつり	23	旭川市神居町神居古潭	カムイノミ、イナウ式、特産品販売 他	同実行委員会 ☎0166 (48) 1651	
11月	みかさ桂沢紅葉まつり	10	三笠市桂沢湖畔	ニジマス・ヤマベの釣り堀、釣り大会 他	三笠市商工観光課 ☎01267 (2) 3181
	恵庭渓谷歩いてみようツアー	中旬	恵庭市自由広場緑のふるさと森林公園	スタンプラリー、バーベキュー	恵庭市経済部商業観光課 ☎0123 (33) 3131

*掲載しているイベントは期日・内容等が変更される場合もありますのでご注意ください。

今回の洪水では、黒龍江省チチハル市、大慶市、吉林省白城市・松原市といった松花江・嫩江の合流点を中心とした両省西部地域で最も大きな被害が生じました。同地域は起伏の乏しい地形をなしており、年平均降水量は約500aです。また植生は草原が中心で、産業も放牧や畑作（トウモロコシ・豆類）が中心になっています。近年、旱魃や洪水の被害が頻発しており、両省の中でも最も貧困な地域の一つです。中国東北地方では例年7、8月が降雨の中心で、97年ハルビン市の2ヶ月雨量は340aでした。これに対し昨年は、両省西部地域を中心に年平均降雨量の2倍にあたる1,000以上

の降雨が2ヶ月間に集中し、歴史上稀に見る大洪水の原因となったのです。また上流での氾濫量を除いてはいるも

洪水被災状況

また吉林省は面積18.7万平方km、人口約2,600万人であり、宮城県と友好姉妹関係にあります。省都である長春市は旧満州国の首都だった事もあり、現在も当時の建造物が数多く残る街並みとなっています。

次に河川の概要ですが、松花江は吉林省・長白山（朝鮮名、白頭山）を源流とする流域面積557,180平方km、河道長2,308kmで、中国・ロシアの国境で黒龍江（アムール川）に合流する、中国7大河の一つに数えられる河川です。また嫩江は大興安嶺を源流とする松花江の主要支川の一つで、黒龍江省チチハル市南部で松花江に合流します。



前郭県水没状況。松花江から5km程離れているが、本川水位が下がらないため排水できない。



人民解放軍の作業を見にハルビン市洪水防御記念公園に集まる市民（洪水の緊張感を感じられない）。

昨年9月1日から5日にかけて、当館並びに在中国大使館、JICA専門家による洪水現地視察（黒龍江省ハルビン市、吉林省長春市・松原市）を実施し、ハルビン市においては松花江の市街地右岸に面する洪水防御記念公園（1932年の洪水克服を記念し、堤防天端を拡張してつくられた公園）と、市街地を防御するため人為的に破堤・冠水させた箇所を視察しました。

視察時、人民解放軍による土嚢の撤去作業が開始されていましたが、それを見に市民が公園に集まり、緊張感はありませんでした。市民の緊張感の無さは洪水を通じ同様だったそうで

被災地視察状況

この、松花江ハルビン市観測地点において次のような観測結果が得られています（最高値は97年8月23日時に記録）。

「最大流量17,400t/s、既往最大流量8,960t/s」、最高水位120.89（既往最高水位120.05、警戒水位118.10）、過去最高水位超過日数8日」

これに対し、中国政府は今洪水による被災状況を次のように発表しました（1元＝円で計算）。

「黒龍江省 被災人口約50万人（内避難人口216万人）、家屋倒壊 1万戸、被災農地面積31.2万、直接経済損失296億元（約4,1004億円）」

吉林省 被災人口152万人（内避難人口 1万人）、家屋倒壊 1万戸、被災農地面積 1万、直接経済損失140億元（約1,960億円）」

視察時、人民解放軍による土嚢の撤去作業が開始されていましたが、それを見に市民が公園に集まり、緊張感はありませんでした。市民の緊張感の無さは洪水を通じ同様だったそうで

被災地の復旧状況

今洪水の被災地は寒冷の厳しい地域であるため、冠水した箇所の凍結に伴う復旧作業の遅れと被災住民の避難生活が心配されました。黒龍江・吉林省政府によると仮設住宅の約7割が冬期前に完成し、親戚等に世話になる者を含め住宅問題については一応の解決を見たそうです。また遼寧省を含め東北3省では被災地以外の食料生産は大豊作であり、被災地への食料供給については問題がなく、地域住民も熱意を持って作業にあたっているとのこと。しかし倒壊した小中学校や医療施設等は数多く残っており、冠水したままの農地の復旧にもまだまだ時間がかかる模様です。

これに対し昨年10月、日本国政府として学校や病院等への緊急無償資金協力約5千万円・6案件を両省において実施しました。また、中国政府は今後3年間で堤防の強化を中心とした河川改修を進めるとのことですので、今後技術協力や人道支援分野での日中両国の交流を考えていく必要があるかと思えます。

緊急レポート

1998年中国東北地方の“洪水”について



ハルビン市街地上流の冠水箇所。冠水したところは本来は放牧地だが、市街地を防御するため人為的に破堤させた（最も離れたところで対岸まで120kmある）。



人民解放軍によって同箇所、堤防に積まれた土嚢。洪水ピーク時には土嚢上端まで水位が上昇した。



洪水ピークを過ぎた松花江（黒龍江省ハルビン市洪水防御記念公園）。この時の水位は堤防天端高程度に下がっている。



カヌーは半分遊びで、半分は川の勉強だから北海道に最も適した遊びですよ。川から見る景色はもう別世界。札幌の景色も全く違います。都会に生きていれば、都会が自然なんだから、もっと自分の身近な川を活かしてほしいですね。

川下りを通して、本物の遊びや豊かさを教えたい

石崎さんは高校卒業後に上京、約7年程前に札幌に戻ってきました。北海道の人に「本物のあそび」を教えるために・・・。「私のカヌーは原木から作るのだから、北海道の賃金体系を考えれば当然安くしないと。北海道の人は本州の人に比べて遊びが下手ですから。収入と遊びのバランスが合っていないとか、木のカヌーは高級で、カヌーイストの憧れ。私は値段に左右されたくないカヌーに乗ってもらいたい。本物の遊び、心が豊かになる遊びを教えたいんです。



来年以降の実施について「あとは後継者に任せる」という潔い答えが返ってきました。それは市民レベルのこの大会が、自分の手を放れてどんどん広がって欲しいという願いがあるからです。シンプルだからこそ本質を突いた石崎さんの考えにたくさんの人が賛同しています。しかし初めての試みゆえの問題があるのも事実。遊びも文化も構築中の北海道だから、たくさんの人々の理解と協力を得ながらこの大会が真に根付いて、広がっていくことを願ってやみません。

全国初、身障者・健常者合同カヌー大会
'99ファミリーカヌー IN サッポロ
 ●とき／1999年6月5・6日(土・日)
 ●ところ／石狩川茨戸川水系
 ●問い合わせ／豊平川下覧権事務局
 TEL&FAX(011)723-2888 カヌー工房 自然塾内

「カヌーによる川下りは特別な人だけのものではなく、身障者も健常者も同じレベルで水辺の自然、先住者の足跡、現在の川の環境、大都市札幌近郊に綱がる川のあり方を見直す」事を目的に行われる、全国で初めての大会。

川に生きる



川と湖の魚についても研究している石崎さん。原点を知っているから川がわかる。

単純、素朴な考えから生まれた合同カヌー大会

豊平川下覧権は、身障者と健常者が合同で身近に流れる河川に触れることで今の自然を知り、助け合いの中で心の壁を無くし、皆同じようにカヌーを体験してもらうために出来たグループで、身障者・健常者合同カヌー大会は全国的にも例のない、全く初めての試みです。

「私の作ったカヌーはファミリー向けなんです。みんなで一緒に楽しめるカヌーでね、障害のある人も一緒に遊ぼうよ、という思いを持ちながら作っていたんです。札幌の川でこういう試みしようなんて、今まで考えたこともないんじゃないかな。まあ、ある程度考えても許されなかつたんだろうね。今回許されたのは、単純、素朴に、みんな楽しんでみようよ」という考えが受け入れられたからだと思う。みんな川に



石崎 和彦さん

豊平川下覧権／カヌー工房 自然塾 代表
くだらんかい

身近な河川を利用して 身障者も健常者も一緒に楽しむ場を創る

乗る人本位のカヌーを作り続ける

「カヌー作りは独学です。一番最初に外国製のカヌーを買ってきて、輪切りにする。日本で作られた木のカヌーはなかったから、みんな外国人サイズなの。だったら日本人に合うように作り替えてあげればいい、そうやって作ったのが自然塾のカヌー。私はその人の家族構成、体重、遊び方を聞いてからじゃなきゃ作らない。都市に工房を構えたのは、実際に見て、触ってもらったためです。他はだいたい郊外で作ってますが、これは私に言わせれば、自分

対して難しく考えすぎるんじゃないかな。私は以前から札幌には豊平川や茨戸川もあるのに、どうして地方に行くんだらうと疑問に思っていて。札幌のカヌー人口は約1万人ぐらいいだけ、みんな地方で遊んでいる。年に1度ぐらい札幌の川で楽しんでもいいんじゃないか、この大会がそのきっかけになれば、という思いもあります。すべて単純な考えですよ。それが、河川を取り巻く状況の変化や、実施時期、人との出会いとか色んな意味で、すべてタイミングがあつたというか、遭遇したのが今回の大会。身障者の人達もとても楽しみにしてますよ。この話をしたとき、もう100%以上賛成でね。」カヌーに触ってみたい、って言うてましたね。それは重度の障害のある人になるほど多いです。」

参加する身障者は80%が盲人、そして車椅子の人。全員がゴールした時、見えて来るものがぎつとある。

流域の現在

現在、石狩川流域の市町村では、
 まちの特性を活かした新しい取り組みが進められています。
 その中でも、ガーデニングやカントリーライフという現代人憧れのライフスタイルを先取りし、
 まるでヨーロッパのように道内外から注目を集める、二つの素敵な“まちづくり”を紹介しましょう。

恵庭市

漁町商店街振興組合 恵庭市漁町202番地
 TEL. 0123-32-2707

色とりどりの花々が香る、 ガーデンシティ

普通の住宅街や商店街が
 観光スポットに

ずらんのまちとしても知られる恵庭市は、道内有数の花の苗の産地で、市民参加による花のまちづくりを進めてきました。噂を聞いてやってくる人はいましたが、ここ最近では、関西、関東方面などからの観光客や視察団が続々とやって来るといふ状況で、花のまち恵庭は、全国区になりました。

この人気に火を付けたのは、恵庭の

住宅街を16ページにわたって特集した全国発売の女性誌でした。読者の「一目見たい」という声があつたという間に広がり、この動きに大手旅行代理店も注目、富良野のラベンダー畑と並ぶ北海道観光の目玉として、パックスアールを企画したいという話も聞かれます。しかし、この良さは観光地化を意識したのではなく、住民が自発的に花を暮らしに取り入れてきている点なのです。新しい花の名所を美しいままに保存するためにも、観る側の配慮とルールが必要なのです。

地域の活性化につながる
 花づくり

古くからある漁町商店街は、各店舗が苗づくりから連携して取り組み、昨年の全国「花のまちづくりコンクール」



「花と緑のまちづくり賞」知事賞を受賞した漁町商店街

花樽やバスケットのグッズやレイアウトにセンスが光る



で都市局長賞受賞、道庁長「花と緑のまちづくり賞」では見事知事賞に輝きました。「花の商店街」としての先進的な取り組みは高い評価を受け、衰退化が進む全国の商店街のひとつの光明として、今後の動向が注目されます。花との関わりがもともと深かった恵庭市は、快適と潤いのあるコミュニティづくりのひとつとして、市民参加の実行委員会方式で「恵庭花とくらし展」を開催しています。街に緑を、窓辺に花をというテーマで、各課題に分け、シンポジウムや講習会、音楽会など色々な催しを行っています。いわば良い土と水を与えながらじっくり時間をかけて育んだ文化なのです。またそれは花の生産者と消費者を結び、地域の産業振興にもつながっているのです。

これからも外の騒ぎに流されることなく、地域に根ざしたものととして花の輪は広がっていくことでしょう。

FLOWER & GREEN

申込み殺到、全国から注目を
 集める画期的構想

道内初の滞在型市民農園として98年の春にオープンした「栗沢クラインガルテン」(ドイツ語で「小さな庭」の意味)。開設が新聞で紹介されたところ、町役場には連日膨大な問い合わせがあり、申込みが殺到しました。農園には「ラウベ(小屋)」という別荘が付き、13棟の全部がレンタル方式、今年完成した14棟も既に利用者が抽選で決められ、利用するには数年待たねばならないほどの人気ぶり。またオープン後も本州各県から視察団が相次いで訪れているような状況です。

これほどまで注目を集めるクラインガルテン構想は、同町の山田晃睦町長が視察に行った北欧の人々の、週末に家族で農園生活を楽しむというライフスタイルからヒントを得たもの。大都市で働く人々に庭を安く提供し、週末だけでも田園で野菜や花づくりをすることで、ゆとりと解放感を味わっても



「収穫の喜びを知るとやめられない」利用者共通の感想

らう。大都市に近い栗沢町だから可能で、そこから本当の意味の都市と農村の交流が生まれると確信しました。
**都会に暮らす人々の、
 心の故郷として**

昨秋の収穫期には各棟の家族が繰出でやってきて、大いに賑わいました。その楽しそうな姿は栗沢町の自慢の夕焼けに映え、名画のような趣。石狩平野を望む格好のロケーションと、画一的じゃなく、ラウベ一棟、一棟のデザインと向きを変える、美しい街並みづくりにこだわりました。また、農業初心者のために、農家の大ベテラン達がアドバイスするなどフォロー対策も万全。町民も全面的に協力しています。ハードとソフトがうまく噛み合っていて、将来は永住したいという利用者もいて、栗沢町のファンは確実に増えています。

両極端に思える都市と農村ですが、乾いた時代だから人は土や太陽、そして緑を求め、そこに両者の接点があったわけです。利用者の中にはご夫婦と孫と思われる組み合わせも多いそう。

北欧の田園地帯を思わせる、クラインガルテン全景



栗沢町

栗沢クラインガルテン
 北海道空知郡栗沢町字由良563-5
 TEL. 0126-34-2150



都市と農村の交流を果たす、 滞在型市民農園 「栗沢クラインガルテン」

希薄になりつつある、人間同士のふれあいも育んでくれる、ここは心の故郷なのです。



河川トピックス

北海道開発局 旭川開発建設部



河川トピックス

北海道開発局



術検討委員会」が設置され、地質状況の把握、ダム形式選定、大規模ダムの設計・施工等について検討した結果、ダム形式は左岸側を重力式コンクリートダム、右岸側を中央コア型フィルダムを組み合わせた複合ダムに決定しました。

また、コンクリートダムの骨材、フィルダム部の盛立て材料が全て貯水池内の河床砂礫、及び段丘堆積物を使用する予定で、これも特徴の一つといえます。昭和59年から建設に着手し、地質調査、堤体の技術的検討、補償工事である道道・町道等付替工事を開始し、観光ルートとなっている道道

フィルダムの基礎は、砂礫層の一部を基礎としたダムで、砂礫層のコア基礎部の止水に連続地中壁という画期的な基礎処理方法を採用し、新技術の開発と工費の縮減を図ったもので、複合ダムとしてはわが国最大級（体積）です。

- **ダムサイトの特殊条件**
- ◎ 河床幅が600mと広く大規模な堤体となる
- ◎ 砂礫層が全面に覆われ最大で40mの厚さで分布している
- ◎ 基礎岩盤は岩盤状態が複雑で一部に変質帯がある

なお工事箇所は、大雪山国立公園に隣接し、大自然がそのまま残っているところで、ダム周辺環境整備に対する地元の見守りも大きいことから、環境の保全に留意しつつ、地域の人々と充分調整を図りながら、建設工事を進めています。

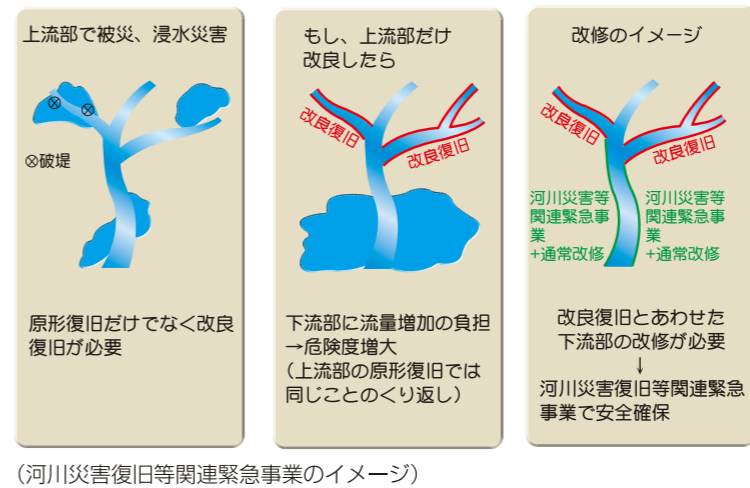
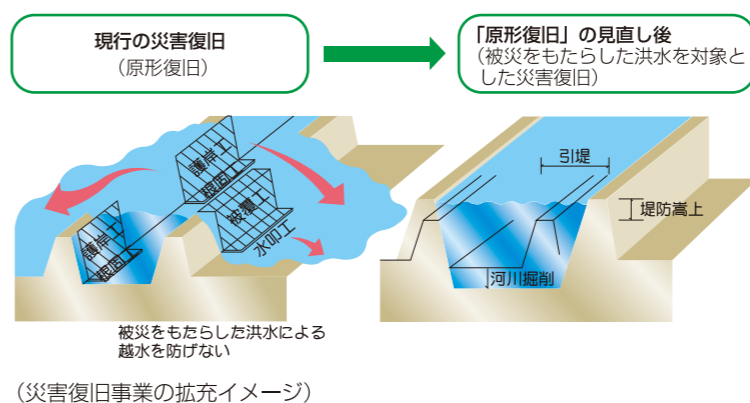
その他、町道付替工事や工用道路の新設を継続実施しており、平成11年から新規に旭岳トンネル（L=992m）に着手します。全体の進捗状況は、平成10年度末で約57%になります。

仮設備工のストックヤード造成、盛立試験等はすでに完了しており、現在は監査廊工を継続実施しつつ平成11年度から本体盛立の一部である上流締切堤を実施し、平成12年から本格的な盛立てにかかります。また基礎処理工はコンクリート部、フィル部ともコンソーレーション・カーテングラウトを行っています。

画期的技術で環境にも配慮した最大級の複合ダム 忠別ダムの施工



着実に建設が進む忠別ダムの特徴と進捗状況についてお伝えします。
忠別ダムは、石狩川総合開発計画の一環として、石狩川水系忠別川上流に建設中の直轄の多目的ダムです。
ダムサイトの特殊条件から、学識経験者、ダム技術の権威者で構成する「忠別ダム技術検討委員会」が設置され、地質状況の把握、ダム形式選定、大規模ダムの設計・施工等について検討した結果、ダム形式は左岸側を重力式コンクリートダム、右岸側を中央コア型フィルダムを組み合わせた複合ダムに決定しました。



水害にそなえた集中的・機動的対策 平成11年度河川事業に関する 制度の創設・拡充について

平成10年に全国各地で発生した大規模な出水に鑑み、再度の災害を防止する対策を集中的・機動的に実施するため、建設省において平成11年度から以下の事項について制度が創設・拡充されましたのでお知らせします。詳細については河川計画課企画係までお問い合わせ下さい。

河川が越水により被災したが、その背後地に集落、主要交通幹線線路があるため、災害を受けた施設を原形に復旧するだけでは著しく不適当な場合において、当該災害を与えた洪水を対象として河川の拡幅等を実施することにより、被災原因の除去を行う。

1 災害復旧事業の拡充

実施することにより、被災原因の除去を行う。

2 河川災害復旧等関連緊急事業の創設

「上流一帯となった治水対策の実施」
激甚な災害が発生した上流部での災害復旧等による流量増のため、下流部において緊急的な対策の必要性がある場合に、下流部において緊急的かつ集中的に治水対策を実施する。

3 河川激甚災害対策特別緊急事業の拡充

河川災害復旧等関連緊急事業費を集中的かつ機動的に投入することにより、概ね4年間で治水対策を完了する。

4 床上浸水対策特別緊急事業の拡充

「高齡世帯、地下鉄、地下街等の被害に配慮」
(1) 5年以内に再度災害防止対策を完了(従来は西暦2000年まで)
(2) 採択要件に以下を追加
① 高齡世帯の浸水(浸水により、人命被害にまで及ぶおそれ)
② 地下鉄、地下街、発電所、変電所の浸水(浸水により、社会活動に著しい影響)

1 採択要件に従来の家屋敷数条件に加え、以下の施設被害を追加

- ① 地域防災計画に位置づけられた防災機関及び避難場所の床上浸水被害
- ② 鉄道、道路、水道、電気、ガスの24時間以上の機能停止

2 上記の施設被害について、全壊家屋5戸として換算

3 河川災害復旧等関連緊急事業の拡充

河川災害復旧等関連緊急事業費を集中的かつ機動的に投入することにより、概ね4年間で治水対策を完了する。

4 床上浸水対策特別緊急事業の拡充

「高齡世帯、地下鉄、地下街等の被害に配慮」
(1) 5年以内に再度災害防止対策を完了(従来は西暦2000年まで)
(2) 採択要件に以下を追加
① 高齡世帯の浸水(浸水により、人命被害にまで及ぶおそれ)
② 地下鉄、地下街、発電所、変電所の浸水(浸水により、社会活動に著しい影響)

1 採択要件に従来の家屋敷数条件に加え、以下の施設被害を追加

- ① 地域防災計画に位置づけられた防災機関及び避難場所の床上浸水被害
- ② 鉄道、道路、水道、電気、ガスの24時間以上の機能停止

2 上記の施設被害について、全壊家屋5戸として換算

河川災害復旧等関連緊急事業費を集中的かつ機動的に投入することにより、概ね4年間で治水対策を完了する。

4 床上浸水対策特別緊急事業の拡充

「高齡世帯、地下鉄、地下街等の被害に配慮」
(1) 5年以内に再度災害防止対策を完了(従来は西暦2000年まで)
(2) 採択要件に以下を追加
① 高齡世帯の浸水(浸水により、人命被害にまで及ぶおそれ)
② 地下鉄、地下街、発電所、変電所の浸水(浸水により、社会活動に著しい影響)

滝里ダムの働き

洪水調節

滝里ダムが建設される地点において、100年に1回起こりうる洪水流量3,600m³/sのうち1,200m³/sをダムに貯め、ダム下流の流量を2,400m³/sに減らします。これにより札幌市をはじめとする22市町村の水害を軽減します。



流水の正常な機能の維持

滝里ダムより下流の空知川と石狩川において、河川の水質や河川の動植物を保護するなどの河川に必要な水量を補給します。

かんがい用水



石狩川と空知川沿川の40,700haの農地において、深水かんがいや畑地かんがいなどの農業基盤の近代化に必要な用水の取水をできるようにします。

水道用水

将来の需要増加に対応するため、中空知広域水道事業団（滝川市・砂川市・歌志内市）と江別市にそれぞれ日最大51,140m³、13,960m³の水道用水を、新たに取水できるようにします。

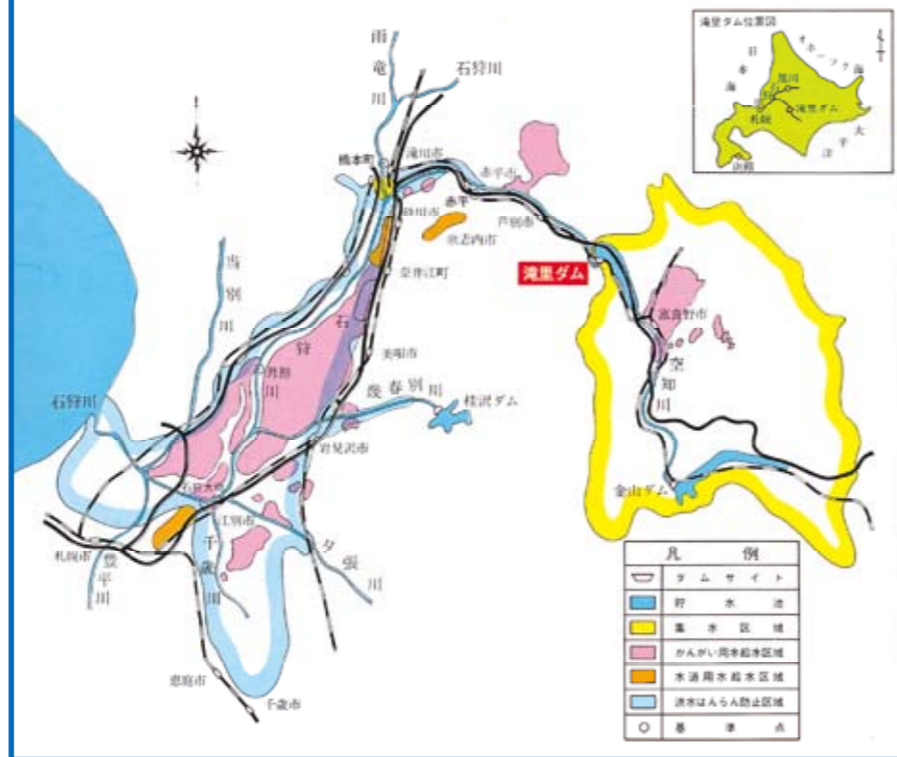


発電

かんがい用水や水道用水などの補給は、ダムに貯めた水を空知川に放流することで行います。その際の放流水を利用して、最大57,000KWを発電します。



滝里ダム流域図



空知川は、その源を十勝岳火山群の一つである上ホロカメトック山（標高1,887m）に発し、十梨別川、西達布川等の支川を合流し、富良野盆地において富良野川等の支川を合流し、さらに芦別川等を合わせて滝川市において合流している石狩川の最大支川であり、流域4市3町にとつて潤いの川となっています。

この空知川の中ほどの芦別市滝里地先に、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の補給、発電を目的とした「滝里ダム」が建設されています。

空知川においては、昭和42年に完成している「金山ダム」に続く2番目の建設省直轄の多目的ダムであり、空知川、石狩川の沿線市町村に対し治水、利水に寄与するものです。

滝里ダム建設事業は、昭和54年に実施計画調査に着手して以来今年度で21年目を迎えているといえます。

この間、多数の水没関係者に対する生活再建対策、大規模な補償工事としてのJR根室本線及び国道38号線の付替工事、技術の結集により課題を克服してきた堤体建設工事、管理設備工事等を進捗させ、その大半が完成しています。

平成11年3月からは、ダム及び貯水池の安全を検証するための試験放水を開始しています。5月上旬には満々と水を溜えた、新緑に映える湖が出現する予定です。

水没する先祖伝来の豊饒の地に住んでおられました方々にとりましては、故郷が湖底に沈むことにつきまして万感の思いをお持ちのことと推察申し上げます。これまで賜りましたご理解・ご協力に対し御礼申し上げます。

滝里ダム及びその湖が、地域の観光開発の核としても期待されているところです。事業最終年度の平成11年度末までには、ダム周辺環境整備の基盤整備についても充実させ、平成12年度から滝里ダムの効用を発揮する予定です。

■ダム及び貯水池の概要

貯水池	
流域面積	1,662.0H
湛水面積	618
サーチャージ水位	EL: 159.6
常時満水位	EL: 150.90
最低水位	EL: 142.40
総貯水容量	108,000千
ダム	
ダム形式	重力式コンクリートダム
高さ	50
長さ	445
堤体積	446千

河川トピックス
北海道開発局
石狩川開発建設部

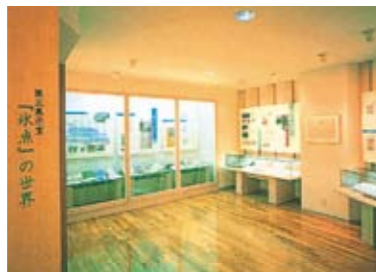
いよいよ完成へ 滝里ダム建設事業



たくさんの人の心と力で造られた「三浦綾子記念文学館」

三浦綾子記念文学館

北海道旭川市神楽見本林
TEL (0166) 69-2626
●開館時間/9:00時~17:00時
●毎週月曜・年末年始 休館



〈「氷点」の世界〉第3展示室



〈ゆたかな作品群〉第4展示室

地の一つで学術的に貴重なものです。面積18.64ha(林地面積11.15)には、外国樹種30数種を中心に約50種類あまりの樹種が植栽され、昭和45年に自然休養林に指定され旭川市民の憩いの森として親しまれてきました。
昭和40年には作家三浦綾子さんが、見本林を舞台にしたデビュー作「氷点」を発表され、以来、全国的に広く知られるようになりました。
またその佇まいは、雪の結晶をモチーフにした六角形の外観で、秀峰大雪山を背景に、見本林とけあいにやさしく心やすらぐもの。これからも市民とともに、知の森、文学の森として、日本における文学、文化の新しい拠点となるよう歩んでいきます。

河川トピックス 旭川市

「氷点」の舞台となった見本林に「三浦綾子記念文学館」完成

空をかきまわすように揺れているストロープ松の梢や、林の中に煙るような光など、私は幾度「氷点」の中に、この見本林の美しさを使わせて頂いたことだろう。私は今まで何十回となく見本林にいっているが、その都度、新たな美しさに感動する。三浦綾子

100年の歴史を刻む、美しい森
美瑛川の右岸に位置する外国樹種見本林、通称「見本林」は、明治31年に、ストロープマツ、ヨーロッパアカマツ、ヨーロッパカラマツ、ヨーロッパトウヒの4種類の苗木を初めて植栽して以来、100年の歴史を持ち、北海道で最も古い外国樹種人工植栽



明治31年植栽ストロープマツ

知の森として市民とともに歩む
この見本林に旭川、北海道の誇りでもあつた三浦綾子さんの文学館を建てたいという市民の熱い思いが市民実行委員会となってスタートしたのは95年のこと。この運動は、一挙に全国に広がり、一口二万円ずつの募金で毎日毎日事務局に寄せられ、平成10年6月13日、旭川市民をはじめ道民が待望していた「三浦綾子記念文学館」はオープンしました。
文学館は「生きる」ことを追求してやまない三浦文学の仕事を称え、広く国の内外に知らせることを願い、多くの人々の心と力を合わせて造られました。それはまた三浦文学を心の豊かな糧としての世に伝えていくことも目的にしています。「ひかりと愛といのち」をテーマに、5室に分けた展示では、「氷点」の世界や豊かな作品群を紹介する他、ご自身の道のりなど人間三浦綾子に焦点を当てると、多彩で興味深い内容になっています。



中州や水際にはクレソン。いつも子供の声が絶えない

河川トピックス 北海道

茂漁川改修完成記念・

地域づくりシンポジウムトーク・イン・茂漁川

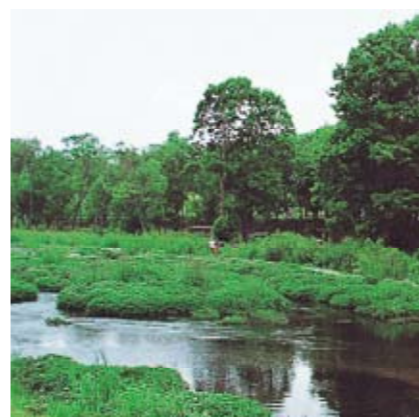
「茂漁川ってどんな川...」 こんな茂漁川になったら...」

川が持つ本来の素顔へ、生まれ変わった茂漁川
恵庭市は札幌市と千歳市の間に位置し、急速な発展を続ける街です。市の居住地域を貫流する茂漁川は恵庭市民に最も身近な河川で、昭和61年から「素顔の水辺づくり」



ご自身の体験を例にとってお話されたみなみらんぼう氏

をテーマに整備を進め、平成元年には建設省の「ふるさとの川モデル事業」に認定されました。整備では地域住民の代表者、行政代表者からなる「茂漁川水辺空間整備検討委員会」を設置、多くの意見を聞きながら自然石を投入する多自然型工法を取り入れ、川沿いに残る旧河川敷や自然林を活かす人と自然に優しい水辺づくりを進め、平成9年度改修を完成しました。



全国ネットのテレビ局も取材に来る、有名な川に変身



生まれ変わった茂漁川を今後どのように活かし守って行くかを多くの市民と考える場として、地域シンポジウムが平成10年11月14日(土)に行われました。主催の北海道札幌土木現業所、天谷直純所長が21世紀の川づくりを考える上で美りあるものであるよう期待するとの挨拶の後、自然、特に植物に関する造詣が深く、著書も多数執筆されているシンガーソングライターのみなみらんぼう氏と、環境林、砂防関係など数多くの研究を行い、「茂漁川水辺空間整備検討委員会」の委員長として計画の策定に携わった東三郎北海道大学名誉教授による基調講演が行われました。みなみ氏は「川はだれのもの」と題して、川と人、人間同士の関わり的重要性、そして本場の潤いにお金をかけていくのがこれからの時代だと語り、「茂漁川に馳せる夢」と題した東氏の講演では、住民参加が珍しかった当時の委員会を振り返り、経済価値を超えた「お金にならない森」と持つという考えが地域発展の為に必要、と述べました。
「茂漁川のことを考える」と題した座談会では、小林英嗣北海道大学教授をコーディネーターに、恵庭市在住の佐伯昇北海道大学教授、茂漁川親しむ会会長、櫻田健一、恵庭市環境審議会委員の高橋美智子の各氏と黒氏博実恵庭市長、そしてコメントーターとして東、天谷各氏が加わって、ふるさとの川への愛着と住民参加の重要性など、活発な意見が交わされました。最後に黒氏恵庭市長が、このシンポジウムで頂いた提言・ご意見をこれからの街づくりで繁栄させていきたいと挨拶し、シンポジウムは終了しました。

21世紀に継がれる川へ、 トーク・イン・茂漁川

石狩川への想いを繋ごう！
「石狩川の清流を守るメッセージ・カプセルリレー（仮）」

開催決定

源流地の住民達からの
問題提起

石狩川流域のホタルやサケ等、動植物と自然の営みの中で共生できる自然環境を取り戻すための意識の啓蒙と世論の喚起を目的に、「石狩川の清流を守るメッセージ・カプセルリレー（仮）」が爽やかな新緑の季節に行われることが決まりました。

これは、21世紀に向けて世界的規模で環境問題が議論され、日本国内でも様々な問題が提起されていますが、昨年で結成30周年を迎えた上川町商工会婦人部が行った記念事業の中の、「大雪の美しい自然環境と母なる石狩川を守るために、私たちは何をしようか。」をテーマにしたシンポジウムで決められたものです。



3支庁管内にまたがる大河石狩川を源流から河口までリレーするかつてない試みは、原始の自然が残るこの環境と石狩川の水質を、源流に生活する者として守っていく責任があるという上川町の住民の方々の真摯で切実な思いを形にしたものです。

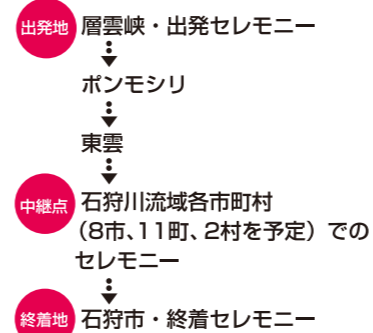
源流から河口まで、
気持ちを「リレー」

メッセージ・カプセルリレーは、それぞれの地域の人々のメッセージをカプセルに詰め、源流から河口までリレー式に繋げるものです。詳細については現在検討中ですが、源流の層雲峡と終着の石狩市でセレモニー、各中継地でもその地域によるセレモニーが予定されています。現在のところ8市、11町、2村が中継地に予定され、カプセルには目印として風船を付け、伴走ポイントで流送します。

源流地住民の方々の熱き思いに込められるためにも、上流下流の垣根無く母なる石狩川の住民として、この自然環境を未来永劫残していくために何をすべきかを考える第一歩となるようこのイベントの成功を願います。

●スケジュール

平成11年5月～6月頃を予定



’99ファミリーカヌーINサッポロ
身障者・健常者合同 カヌー大会

参加者募集

本誌112ページで紹介した全国初の身障者・健常者合同カヌー大会の要項が決まりました。カヌーは誰もが出来るスポーツです。昔のように気軽に川と遊んでみませんか？



●スケジュール

- 6月5日：キャンプファイヤー交流会／石狩市弁天町
- 6月6日：身障者・健常者合同カヌー大会
茨戸橋スタート～石狩市本庁前
身障者ゴール（5km）
石狩川本流・石狩渡船場健
常者ゴール（14km）

●参加者募集期間：3月1日～5月5日まで

●問い合わせ：豊平川下覧権実行委員会
札幌市東区北33条東7丁目
カヌー工房自然塾内
TEL&FAX(011)723-2888

大水害を物語るパネル展が、
あなたの街にやってくる

北海道の水害史上最大の惨事

明治31年9月に発生した北海道の洪水被害は、開拓使設置以来130年を経た今日でもその記録が破られていない

100周年の記念パネル展実施

平成10年はこの洪水からちょうど100年目に当たり、石狩川振興財団ではシンポジウムを9月4日に開催いたしました。その隣接会場で当時の状況を克明に記録した写真パネルを展示しました。内容は当時の被害状況写真をはじめ、その後襲った洪水災害、さらにそれらに立ち向かった先人たちの洪水対策等臨場感溢れるもので、そ

明治31年大水害
100周年記念

パネル展



砂川市公民館



滝川市役所

石狩川振興財団の
活動報告

北海道水害史上最大の惨事で、死者248名の他、家屋2万7千000戸余、冠水農地5万5000戸余の膨大な被害を生じた大水害でした。中でも開拓の緒に付いたばかりの石狩川流域の被害は全道被害の半数を超え、流域住民を悲嘆のどん底に陥れました。これが教訓となつて、北海道の治水対策は本格的にスタートするところとな

の後の写真パネル50点を、関係市町村で巡回展示することにしました。既に滝川市において12月21日から28日、砂川市で1月25日から31日間展示し、約3000人の人々が一世紀前の悲惨な災害状況や治水工事の労苦を伝える貴重な写真を食べるように眺めていました。

この展示会は平成11年度も引き続き関係市町村で行われる予定です。

編集後記



◎本号より、表紙に特集内容を表現いたしました。早く表紙をめくる衝動にかられるようにとの思いからです。

◎特集は春号にふさわしく、石狩川河畔及び近傍の花・緑・木を取り上げました。

◎今年の冬は例年になく厳しいものがあり、また、社会・経済情勢も不安定なものがありました。しかし、石狩川の春は1歩1歩近づいています。そして、秋にかけて、石狩川河畔等において各地でイベントが用意されています。冬の内籠りがちであった生活から、外へJumpしてみたいかがでしようか。悲観は気分次第、楽観は知性に依るといいます。石狩川の自然に知性を感じ楽観でうつ積を吹き飛ばしてはいかがでしょうか。

◎マスコミで大々的に報じられた中国東北地方の松花江の洪水について、瀋陽日本総領事館へ赴任されている貴家氏より緊急レポートをいただきました。

◎年間降雨量の2倍もの雨量が、2ヶ月間も降つた為の大洪水の発生。既往最大規模のみの洪水対策では不十分。異常時の危機管理の必要性に迫るレポートでありました。貴重なレポートをいただいた貴家氏に心より謝辞を申し上げます。